

小型・軽量ターニングセンター

設置面積30%、重量25%減

タカハシ
カキ

【新潟】タカハシキカイ（新潟県小千谷市、高橋徹社長、0258・822・4315）は、2スピンドルタイプのターニングセンター「WT50」を開発した。設置面積は同社従来製品に比べ約30%削減、重量は同25%低減した。小物素形材について効率的で精密な複合加工が可能。2018年3月に発売す



る。標準仕様の価格は販売を見込む。消費税抜きで2000万円。初年度に10台の

WT50は、多軸回転工具ユニットなどによって複数の刃

ており、高い形状精度で高速回転加工が可能。トランスミッシヨ

具や回転工具を使用できる。ビルトインスピンドルを標準搭載し

同社の従来製品に比べて設置面積を約30%削減することで工場のスペースの有効活用につながる。重量も同25%低減しており、工場の上階への設置も容易

になる。初年度は、国内メーカーに優先的に売り込み、2年目以降はタイや中国、韓国を中心に海外の需要開拓を進める。小型・軽量タイプの市場投入による製品ラインアップの拡充を19年2月期に同20億円に引き上げる計画。